

こんにちは！日本を離れて 3 ヶ月が経とうとして、日本の食べ物が恋しくなってきました。お寿司とかラーメンとか日本食が食べられるところはこちらにもあるし、美味しいけれど、そういうのじゃない日本の味（？）みたいなものが今すごく食べたいです。

10 月にはハロウィンがありましたが、その日には雪が積もりました。氷点下の中でしたが、仮装して近所にトリックオアトリートをしに行ったり、また家にトリックオアトリートをしに訪ねてきた子供たちにキャンディーを配ったりしました。スーパーにはハロウィンのためのキャンディーボックスが大量に販売されていたり、さまざまな仮装やメイク道具が売っていたりと、ハロウィンへの本気度に驚きました。学校でもハロウィンの日は仮装することができて、中にはポケモンの仮装をしている人もいて、なぜか少し嬉しかったです。さて、今回の報告書ではアメリカの学校について書こうと思います。

学校のシステムは学校によってさまざまなのですが、私の通っている学校では白鷗と同じ 45 分の授業で、それが 8 時間分あります。朝は 7 時 45 分から 1 時間目が始まり、2 時 45 分には 8 時間目が終わり、各々スポーツの練習にでたり、家に帰って自由に過ごしたりします。時間割も必修科目と必要な単位数の中で自分が学びたいものを選択します。授業としては、日本と同じような国語（英語）、数学もあれば、バンドや演劇、Choir（聖歌隊）など、異なる教科もあります。

バンドなどの授業はとても楽しく、リフレッシュする時間にもなっているし、そして数学の授業も用語さえ覚えていれば理解するのもそんなに大変ではありません。反対に大変なのは、たくさん覚えることがある生物や世界史の授業や、英語をしっかりと理解する必要がある英語の授業（日本の国語みたいな授業）です。また必修の宗教の授業も、今までに触れたことがないことで、はじめの方は全くわからなくて、授業についていくのも宿題をするのも本当に大変でした。しかし、2 ヶ月の間それを学んでいく中で今まで知らなかったことがどんどんわかるようになっていき、また面白いと思うようになりました。宗教というのは人や民族、国家などの中で大きな影響があるものだからこそ、その一つについて間近で理解できることはとても貴重だし重要なことを経験できていると思います。

日々の授業や課題、ホストファミリーとの生活の中で、3 ヶ月前の自分の英語より成長している実感が出てきました。自分の思い描いたように上手くいかないことの方が多いし、楽しいばかりの毎日ではないけれど、もう 3 ヶ月が経ってしまうと思うと、あまり立ち止まらず、前に進み続けたいといけないなと思います。それではまた次回の報告書で！